

来年4月開設 八学大むつ下北キャンパス

入学金、授業料 全額補助も

むつ市と八戸学院大学との 包括連携に関する協定締結式



締結式に臨んだ山本知也むつ市長(中央左)や八学大の水野眞佐夫学長(同右)ら関係者＝19日、同市

むつ市と連携協定

八戸学院大とむつ市は19日、2025年4月にむつ総合病院近くに開設予定の「八学大むつ下北キャンパス」

ス」をはじめ、医療や健康といった分野で協力する包括連携協定を締結した。看護師不足解消などに取り組み、地域の発展と人材育成を目指す。

協定の内容は、同キャンパスや地域の健康増進、学術研究、文化・産業振興など6項目。市役所で締結式が開かれ、八学大の水野眞佐夫学長と山本知也市長が協定書に署名した。

水野学長は、看護学科開設の際に実習先として同病院の協力があつた背景を踏まえ、「この地域で次の世代を担う看護師、保健師の育成にしっかり携わっていききたい」と抱負。キャンパス

スの名称について、光星学院総合戦略推進室の一戸利則室長は「むつ下北全域の学びを支援するとの思いで命名した」と説明した。

山本市長は「子どもたちが生まれ育つた地域で学び、地域医療に携わるといふ選択肢が増える。住民の期待も大きい」と、意義を強調した。

また、同キャンパスに進む学生を対象とする新たな奨学金制度を創設する意向も明らかにした。入学金と授業料を全額補助し、卒業後は同病院に10年間勤めると返済を免除。25年度のスタートを見込んでいる。

(工藤文一)